

県立水戸南高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	<input checked="" type="radio"/> A 妥当である <input type="radio"/> B おおむね妥当である <input type="radio"/> C あまり妥当でない <input type="radio"/> D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> すべての項目が単一の年度内で達成を目指すものではなく、達成までに至らなくても、その過程では良好な経過をたどっているものもあるから、自己評価は妥当であると思う。 基本的な生活習慣と規範意識の確立、保護者及び家庭や関係機関との連携が、素晴らしい。 教職員が生徒に対して真剣に向き合っている様子が感じとれた。継続をお願いしたい。 通信制では、学習の習慣化や学校への帰属意識を持つことが難しいと考えていたが、ホームルームやカウンセラーの相談など、丁寧な対応がなされていることが分かり安心した。 不登校や中途退学経験者などの受け皿として重要な役割を担っており、引き続き自己評価Aをめざして取り組んでいただきたい。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	<input checked="" type="radio"/> A 妥当である <input type="radio"/> B おおむね妥当である <input type="radio"/> C あまり妥当でない <input type="radio"/> D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> 具体的目標及び具体的方策については、生徒の実情に合わせて設定されており、自己評価についても、未達成の項目もなく妥当であると思う。しかしながら、目標の設定と達成については、学校側の視点と生徒の側の視点があるので、目標の設定レベルや達成レベルをどのように設定するかは難しい課題であろうと思った。 学習指導について、4/5項目がAであり、教職員が具体的に取り組まれた成果とを感じる。 具体的目標及び具体的方策とも分かりやすいものであり、評価がしやすいと思う。自己評価は全体的にBが多く、やや厳しいのではないかと思う。 学校へ行くと生徒が気持ちよい挨拶をしてくれることから 学校でのことがうまくいっていると判断した。 各教科ともスクーリングとレポートの内容充実に取り組み、次年度以降の工夫や改善、新たな視点での斬新な発想など、常にチャレンジする姿勢が感じられてよいと思った。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	<input checked="" type="radio"/> A 十分把握している <input type="radio"/> B おおむね把握している <input type="radio"/> C あまり把握していない <input type="radio"/> D 把握していない	<ul style="list-style-type: none"> 学校側の目標として設定した水準には達していないが、生徒個人から見ると相当に努力したということもあると思う。 次年度に向けて、具体的な対策を書いている項目が多い。共通実践につながると思う。 生徒の実態に合わせた課題が書かれていた。ぜひ実行し、課題に取り組んでほしい。 次年度の目標は、実践にもとづき適切に設定されていると思う。特に教務における事務処理効率化や支援システムの機能強化が、教職員の負担を確実に減らし、生徒に向き合う時間を増やせるよう取り組んでいただきたいと思う。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	<input checked="" type="radio"/> A 適切である <input type="radio"/> B おおむね適切である <input type="radio"/> C あまり適切でない <input type="radio"/> D 適切でない	<ul style="list-style-type: none"> 達成状況に基づいて、次年度への課題が示されており、適切に対応していると思う。 課題を分析し、具体的な方策につなげている。それを全員の実践につなげていただきたい。 学校と保護者が連携していることが大事であると思う。 評価項目すべてについて、きめ細やかな改善方策が掲げられている。教職員の皆さんの不断の努力に敬意を表する。